

第3章 コース管理部門におけるOA化とネット環境に関するアンケート



「The Greenkeeper2010」では、ゴルフ場のコース管理部門におけるOA化とネット環境について、全国ゴルフ場のコース管理課にアンケートを依頼した。アンケートでは、パソコンの有無やその台数、その他OA機器の有無を聞いたほか、インターネットへの接続環境、コース管理用ソフトや気象観測システムの導入、パソコンを使用しての業務処理などを聞いている。今回寄せて頂いた回答数は、全国2350コースのうち379コースだった。(平成21年9月1日現在)

◆地区別の区分は便宜的に、北海道、東北（青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島）、北関東（茨城・栃木・群馬）、南関東（埼玉・千葉・東京・神奈川）、甲信越（新潟・長野・山梨）、東海（静岡・愛知・岐阜）、北陸（富山・石川・福井）、近畿（三重・滋賀・京都・奈良・和歌山・大阪・兵庫）、中国（岡山・広島・鳥取・島根）、四国（香川・徳島・高知・愛媛）、九州（福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄）とした。

コース管理事務所のOA化

9割以上のコースでパソコンを使用！

仕事場や家庭などを見ると、今やパソコンは物珍しいものではなくなっている。逆に、情報を検索したり、膨大なデータを収集し処理するためには欠かせない機器といえるだろう。ゴルフ場においても同様で、クラブハウスにおける顧客データの管理や様々な業務の処理などに活用している。では、コース管理部門においてはどうか。今回のアンケートによって、コース管理部門におけるOA機器の設置状況やそれらの使用状況などを分析していきたい。

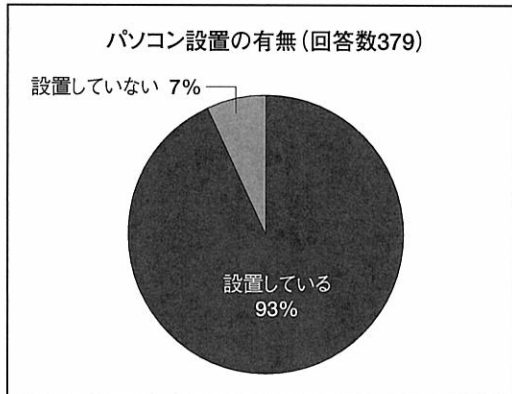
【設問1】では、コース管理事務所におけるパソコンなどOA機器の設置状況を聞き、まずは、パソコンの設置状況をまとめた（表1、図1）。

回答のあった379コースのうち、パソコンを「設置している」は352コース、「設置していない」は27コースとなり、93%のゴルフ場で設置していることがわかった。地域別で見ると、東北で80%を切ってはいるが、甲信越と北陸で設置率100%になるなど、全国的にパソコンの設置は進んでいるといえそうだ。また、パソコンを複数台設置しているゴルフ場も多い。設置台数の全国平均は2.0台で、中には複数あるうちの1

表1 コース管理事務所のパソコンの設置状況

	回答 コース数	パソコン設置 コース数	設置率	台数	平均台数
北海道	19	17	89%	35	2.1
東北	24	19	79%	35	1.8
北関東	64	62	97%	118	1.9
南関東	60	57	95%	112	2.0
甲信越	25	25	100%	39	1.6
東海	44	41	93%	92	2.2
北陸	11	11	100%	28	2.5
近畿	76	68	89%	157	2.3
中国	21	20	95%	31	1.6
四国	12	11	92%	16	1.5
九州	23	21	91%	44	2.1
全国	379	352	93%	707	2.0

図1

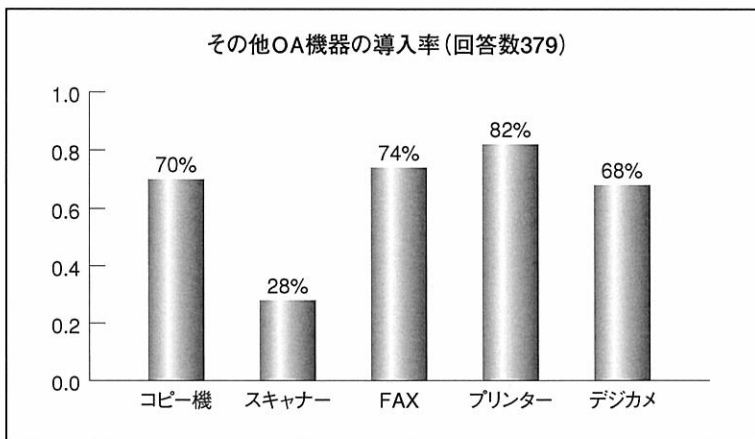


台を散水システム専用に使っているという回答もあった。地域別では、北陸の2.5台をはじめ、北海道(2.1)、南関東(2.0)、東海(2.2)、近畿(2.3)、九州(2.1)で平均2台以上だった。ちなみに18ホール換算であれば、札幌のゴルフ場の8台が最高設置台数だった。

反対に、パソコンを設置していない理由には、「必要なし」、「予算の都合上」、「ブロードバンド回線が来ていない」、「必要なことはクラブハウスで処理している」、「保安上に問題がある」、「コース管理事務所自体がない」などの回答があった。

次に、パソコン以外のOA機器の設置状況を見てみると(回答数379、複数回答)、「コピー機」264コース(70%)、「スキャナー」105コース(28%)、「FAX」281コース(74%)、「プリンター」310コース(82%)、「デジカメ」259コース(68%)となり、前述のパソコンの設置率が

図2



高いこともあってか、プリンターの設置率も高い結果となった(図2)。ではコース管理事務所には、パソコンを含め何種類のOA機器が設置されているのだろうか？

パソコン、コピー機、スキャナー、FAX、プリンター、デジカメの6機種の設置状況を種類数でまとめてみた(回答数379)。なお、コピー機&FAX&プリンターの機能を併せ持つ複合機に関しては1種に分類した。その結果、「無し」の回答が16コース(4%)、「1種類」23コース(6%)、「2種類」28コース(7%)、「3種類」41コース(11%)、「4種類」64コース(17%)、「5種類」127コース(34%)、「6種類」80コース(21%)になり、70%超のゴルフ場が4種類以上を設置していた。

以上のように、コース管理部門においても、データの管理や膨大な情報を収集し処理するためには、これらOA機器は必要不可欠になりつつあるようだ。また以前に比べてコース管理部門では従業員が減少傾向にあり、事務作業の合理化を図る意味においても、利便性を求めた結果としてOA機器の充実は必然といえるだろう。

コース管理用ソフトの導入は低調！

Excelなどで処理するケースが目立つ

では次に、設置しているパソコンのインターネット環境や実用ソフトの導入の有無などについてみていきたい。

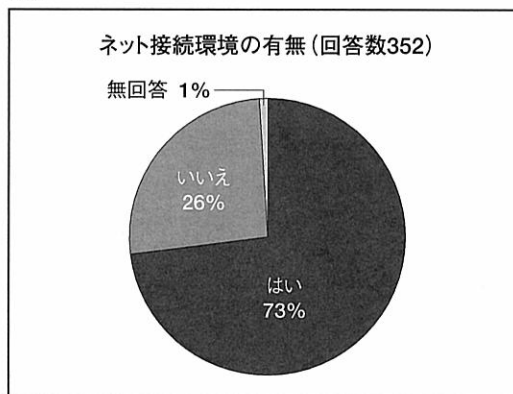
まず【設問2】では、パソコンに搭載されているOSの種類を聞いたところ(回答数352)、「Windows」が343コース(97%)と圧倒的に多く、反対に「Macintosh」は2コース(1%)とかなり少ない。また回答の中には、複数設置しているパソコンのOSを、それぞれ「Windows」「Macintosh」の両方を採用しているケースもあった。一般

的にグラフィック向けといわれる「Macintosh」よりも、ビジネス面で普及率が高い「Windows」が好まれていると思われる。

では、様々な情報を手軽に検索できるインターネットへの接続についてはどうだろうか？

パソコンを設置している352コースのうち、インターネットに接続しているゴルフ場は257コース（73%）だった（図3）。また、接続しているゴルフ場にインターネット回線の種類を聞いたところ、「光回線」54コース（21%）、「ADSL」118コース（46%）、「電話回線」56コース（22%）、「その他（ISDN他を含む）」19コース（10%）、「無回答」10コース（4%）という結果になった。この数字を見る限りでは、通信速度の速い「光回線」はまだ普及していないようだ。

図 3



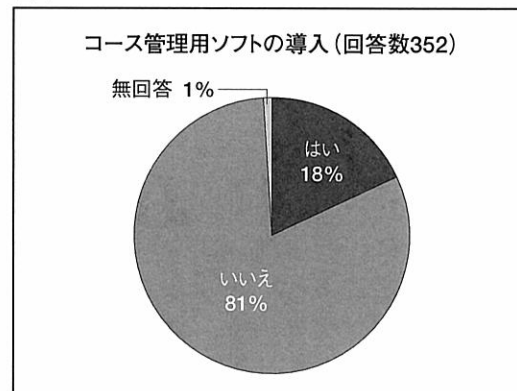
ところで、年間の気象データや施肥計画など、コース管理作業で出されるデータは、どのゴルフ場でも記録し保管していると思われる。それらのデータを毎年蓄積することによって、健全な芝の育成や病虫害雑草の抑制など、コース管理手法における引出しを増やすことに繋がる。さらには、従業員の育成において客観的な数値を見せることも必要になるだろう。では、コース管理における膨大なデータをどのように処理しているのだろうか？

そこで【設問5】では、コース管理データを合理的に処理できるコース管理用ソフトの導入の有無などを聞き、また、【設問6】では、パソコンと連動した自動気象観測システムの導入の

有無を聞いた。

まず、コース管理用ソフト導入に関しては、「はい」の回答が64コース（18%）、「いいえ」が285コース（81%）、「無回答」が3コース（1%）となった（図4、回答数352）。また、「はい」の回答の中で具体的な管理用ソフト名を聞いたところ、『自社作成』の回答が19コースで、以下順に富士テレコム㈱『コースメイトV』18コース、三和コンピュータ㈱『芝博士』17コース、㈱クリエート『G-MAP』2コース、㈱ナレッジワーク『ナレッジキーパー』1コース、日本芝草管理技術会『ターフマスター』1コース、『その他』4コースという結果になった。

図 4

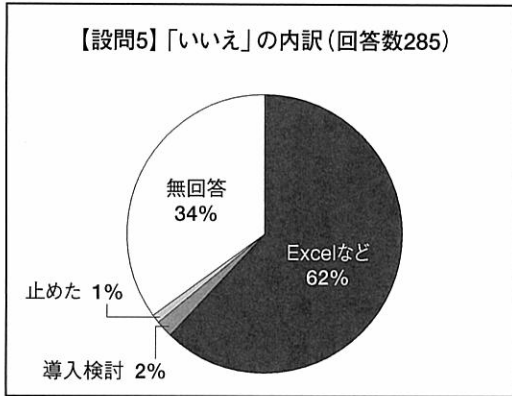


反対に「いいえ」のうち、『Excelなどで処理』しているといった回答は176コース（62%）、『導入を検討している』7コース（2%）、『導入していたが止めた』3コース（1%）、『無回答』99コース（35%）だった。これらの結果から、コース管理用ソフトを導入するよりも、Excelなどを利用して処理するゴルフ場の方が多いことがわかる（図5）。

そして、パソコンと連動する自動気象観測システムの導入の有無については（回答数352、図6）、「はい」が106コース（30%）、「いいえ」が242コース（69%）、「無回答」が4コース（1%）だった。ちなみに、導入している自動気象観測システムで最も多かったのが『ウェザーステーションシリーズ』の81コースだった。

ここまではパソコンの設置状況などを聞いてきたが、次に【設問7】では、パソコンを使っ

図 5

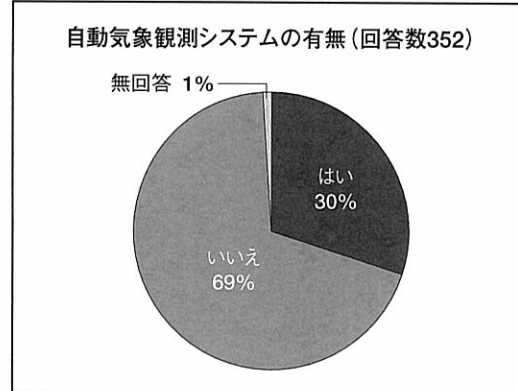


てどのような業務の処理を行っているかを聞いた (回答数352、複数回答、図7)。

最も多かった回答は、「作業計画・実績」の312コースで、以下「施肥計画・実績」295コース、「施薬計画・実績」292コース、「在庫管理」271コース、「気象データ」201コース、「人員計画」138コース、「画像処理」114コース、「病害虫雑草履歴」99コース、「コースの測量・用地管理」43コース、「樹木管理」27コース、「その他」21コースという結果になった。また、「その他」の中には、予算管理、関係各所への報告書作成、自動散水システムのデータ処理、中には、管理事務所前にWebカメラを設置して積雪状況を記録するといったものまであった。

【設問8】では、設問7で挙げた業務のパソコン

図 6



への入力担当者を聞いた (回答数352、複数回答、図8)。当然ながら、「キーパー」という回答が264コースと最も多く、以下、「事務員」100コース、「サブキーパー」96コース、「コース管理スタッフ」76コース、「特に決まっていない」8コース、「無回答」6コースという結果になった。ただ、多くのコースでは、キーパーも含めた複数回答がみられ、作業レベルによっては入力担当者を分けていると思われる。

キーパー向けサイトの閲覧希望が7割超

ここまで見てきたように、コース管理部門で

図 7

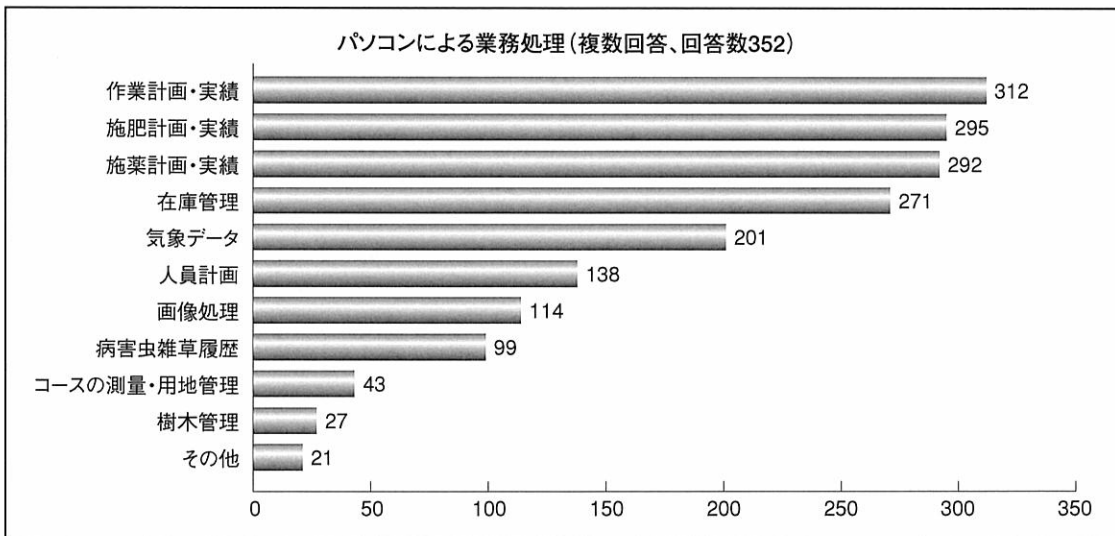
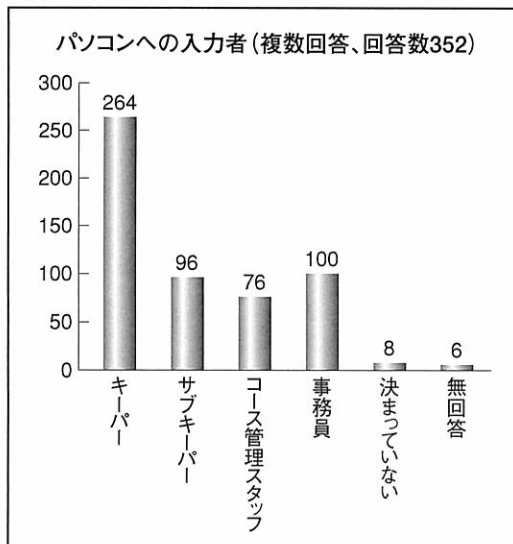


図 8



は様々な情報やデータを扱い、パソコンなどで処理していることがわかった。またその中には、資材機材の見積もりや年間予算など、支配人や経理などと共有しなければならないデータも多いと思われる。それらの情報を共有する手段としては、無線LANなどを利用したパソコンの社内ネットワークの構築がある。社内ネットワークによって、ゴルフ場の全従業員がコース管理における様々な情報を共有することができる。

そこで【設問9】では、社内におけるパソコンのネットワーク環境について聞いてみた(回答数352)。最も多かった回答は「繋がっていない」で185コース、次いで「クラブハウスにも繋がっている」が106コース、「コース管理事務所だけ繋がっている」48コース、「コース管理事務所とクラブハウスへの2系統」4コース、

「その他」1コース、「無回答」8コースとなった。必要性の問題か、無線LANなどの設置コストの問題かは定かではないが、この結果を見る限りでは、あまり社内ネットワークの構築は進んでいないといえるだろう。

以上、コース管理事務所におけるOA機器の設置状況やパソコンの実務利用などをみてきた。では次に、キーパーによるインターネットの利用についてみていきたい。

【設問10】では、頻繁に閲覧するサイト名やブログ名を聞いたところ、気象庁や国土交通省防災情報センター、ヤフー天気予報など、気象や災害情報に関する回答が多かった。その他には、GDOやGORAなどのネット予約サイト、各地区ゴルフ場ガイド、日本芝草学会や各グリーン研究所などの芝草関連、JGAやJGTOなどのゴルフ関連団体、資材機材メーカー、自社HPなど、様々な回答がみられた。

また設問10の回答の中には、「某キーパーが開設しているブログの閲覧」というものもあった。そこには、キーパーの本音やコース管理手法などが書かれており、閲覧する他のキーパーはそれらを参考にしていると思われる。ただ相対的に見て、そういったキーパー向けのサイトやブログは少ないのが現状だ。

そこで【設問11】では、キーパーらが意見交換や情報共有できるようなコミュニティサイト、キーパー向けサイトの閲覧希望を聞いてみた(回答数379、図9)。その結果、「希望する」との回答が273コース(72%)、「希望しない」が43コース(11%)、「無回答」63コース17%となり、70%超のキーパーらがそれらサイトの閲覧

月刊ゴルフ雑誌 増刊号

The Greenkeeper

ゴルフコース管理総合誌

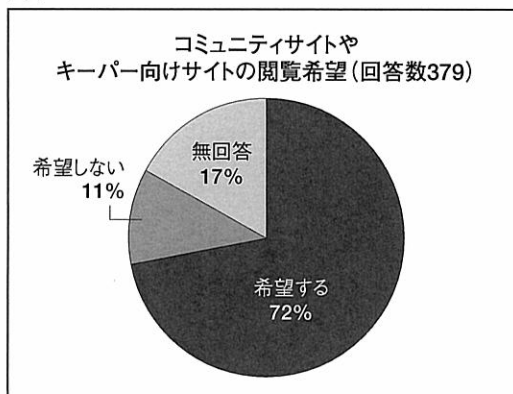
ザ・グリーンキーパー2010年版

2010

定価5,250円(税込)

購読は、電話03(3864)7821または、
一季出版のホームページ(<http://www.ikki-web.com>)からお申込みください。

図 9



閲覧を希望していることがわかった。各地域のキーパー会などで情報交換はなされているようだが、全国のキーパーと交流を持つ機会は意外に少なく、したがってインターネットはそのツールとしては最適で、今後、そのようなコミュニティサイトの増設が望まれるだろう。

では最後に、【設問12】でコース管理部門のOA化に対する意見や感想、また、Webで閲覧したいサイトの内容などの回答を頂いたので、簡単に紹介する。その中で、OA化によるメリットや課題などが出ているので注目したい。

〈OA化についての意見・感想〉

- コース管理には、気象観測を含めて、計画、実績のデータを管理するOA化は必要だと感じる。
- OA化といってもパソコンに向かう時間を作れるかで決まってしまう。パソコンを有効に使うにはやはり時間が必要。
- 様々な資料を管理するパソコンは不可欠なものになっている。しかし、入力する時間が足りないのが現状である。
- OA化についてコース管理のデータを誰でも共通のものとして知ることができるので、キーパーの異動などで人が変わってもデータを見ることができ、今後の作業に活用できる。
- かなり便利になっているが、Excel処理などにしても、数値の確認などを怠りがちになりやすく（機械の間違いなどないと錯覚してしまう）、注意が必要。
- コース管理用ソフトについては未だ満足いくものがない。

- ペーパーレス化には良い。
 - 気象観測システムなどを設置したかったが予算的に無理だった。今後はネットワークを通じてゴルフ場間での病害虫の情報交換が必要。
 - 後進のために記録保存という点では優れているので活用したい。
 - 在庫管理、特に棚卸等の数計算は早くから使っているが処理が楽になった。また、作業実績、気象データ等の保存、グラフ作りも簡単にでき、良いと思う。コース工事等の写真もファイル化し保存でき便利になった。インターネットからの情報については現状、あまり期待していない。
 - 人員少なく、現場作業に追われ、パソコンに向かう時間的余裕もなく最小限の活用になっている。
 - 全体的にOA化については進んでいない部分である。外資系のゴルフ場に比べ、まだまだ差があると認識している。
 - 今まで書物類での販売だった物がサイトで閲覧できるようになれば良い。情報の多様化を望む。
 - 昔からOA化について検討され、導入しているコースが増えてきたが、まだまだ普及したとは言い難い。やはり、どうしても必要とは思われていないし、なくてもそれほど困らないと思う。
 - 日報を入力することですべてのデータ管理（気象、施肥、施薬、病害虫）が出来れば良いが、自然を相手にしているため、なかなか思うようにはいかない（施肥・施薬計画や日土など）。
- #### 〈閲覧したいサイト〉
- キーパーの本音、テクニックが公開されているサイト。
 - ピンポイント天気情報（過去のもの）。
 - 少量量散布で使用（0.05cc/m²）可能な農薬一覧。
 - 全国ゴルフ場のコース管理作業実績。
 - GPSの利用、雑草・病害虫のサイト、リモートセンシング研究と利用（応用）。
 - コース管理用ソフトの比較（各社ソフトの特徴、導入実績などについて情報が欲しい）。